

令和5年1月吉日

各教育委員会教育長 様
各小・中学校（園）長様
関 係 者 各 位

八丈町教育委員会教育長 佐藤 誠
八丈町立大賀郷中学校長 石井 謙次

令和4年度 八丈町教育研究奨励校

研究発表会のご案内（最終案内）

研究主題

「自ら学ぶ生徒の育成」 ～ 郷土を軸にした教育活動の充実～

日 時 令和5年 1月27日（金） 受付開始13時～
公開授業 13時30分～14時20分（探究学習の発表）

13:30 公開授業(各教室) 14:20	14:20 休憩 14:30	14:30 研究発表・協議・講演会 15:55	15:55 謝辞 16:00
-----------------------------	----------------------	-------------------------------	----------------------

【講 師】福井大学 教育・人文社会系部門

教員養成領域 教師教育講座

准教授 半原 芳子 先生



八丈町大賀郷学園大賀郷中学校

〒100-1401 東京都八丈島八丈町大賀郷3073

TEL: 04996-2-0127

FAX: 04996-2-4619

問い合わせ先 副校長 高木 孝裕



大賀郷学園シンボル

公開授業（13:30～14:20） 〈探究学習の発表〉

全校生徒に興味関心のあることについてアンケートを取り、縦割りグループを11グループ作りました。各グループで、八丈島の生活と関連付けて、様々な活動をしてきました。生徒の挑戦の結果を御覧ください。

No	研究課題	目的と仮説
1	街灯問題	島内の暗いところに文学に関連する街灯設備を設置すれば街が明るくなり、他の島にはないような魅力あふれる島になるのではないかと考えた。
2	観光から移住へ	観光スポットを作れば、若者の移住者が増えるのではないかと、移住する人が暮らしやすい環境は、八丈島民も暮らしやすい環境ではないかと考えた。
3	島の発展	子育てについてのアンケートからホームページを作ることによって、八丈島の子育ての魅力が多くの人に伝わり、移住者が増えるはずであると考えた。
4	自然との共生	島に落ちているゴミを拾うことによって、環境を守ることができ、その拾ったゴミで島を活気づけられる作品も作ることができるのではないかと考えた。
5	リトアニアと八丈島の交流	八丈町国際交流員と連携することで、リトアニアと八丈島の交流を図ることができ、お互いの理解が深まるのではないかと考えた。
6	音楽の力で八丈島の笑顔をさらに増やす	学校外でLIVEを行い、音楽を通して交流を図ることで、お客さんも演奏者もお互いに笑顔になると考えた。
7	観光と環境	映えスポットを作ることで観光客の増加、傘をデザインすることで雨の日も憂鬱な気分にならないことにつながるのではないかと考えた。
8	島の活性化	天候に左右されない島内のスポーツ施設の見学をすることで、成人や高齢者の運動する機会が増える、きっかけを作れるのではないかと考えた。
9	八丈島の人口減少 来島者の減少	ボードゲームには島の魅力を伝える力がある。そして、来島者の増加につながるのではないかと考えた。
10	八丈島の特産物を 知ってもらいたい	八丈島の特産物を広めて八丈島の知名度を上げれば、来島者なども増え結果的に人口減少を止められるのではないかと考えた。
11	八丈島の活力の衰退	気軽に訪れることができるカフェがあれば、交流が生まれて、笑顔になる人が増えるのではないかと。展示物を工夫すれば、会話が增えるのではないかと考えた。

※新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で、研究発表を行います。

会場案内



【学校情報】

〒110-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷 3073

【アクセス】

〈航空便利用の場合〉

羽田空港－八丈島空港（約50分）

八丈島空港より 車5分（徒歩20分）

〈船便利用の場合〉

竹芝－八丈島（約11時間）

八丈島底土港より 車10分（徒歩40分）